

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成31年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
新発田市	下水道事業	小規模排水処理	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○					

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業) 広域化等																		
実施済	○	(実施類型)		(取組の概要及び効果)		(実施(予定)時期)														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">汚水処理施設の統廃合</td> <td style="width: 50%;">汚泥処理の共同化</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">維持管理・事務の共同化</td> <td style="width: 50%;">最適な汚水処理施設の選択(最適化)</td> </tr> <tr> <td> </td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)		○	最適整備構想の結果、中道地区、砂山地区について小規模集合排水処理施設で整備を実施した。 下水道整備工事経費301,000千円の削減となった。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">平成</td> <td style="width: 33%;"> </td> <td style="width: 33%;"> </td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	平成			22	6	1	年
汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化																			
維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)																			
	○																			
平成																				
22	6	1																		
年	月	日																		
実施予定		(取組の概要)		(検討状況・課題)																
検討中																				